

### 3. 設備投資に関する小規模企業の状況について(主なコメント)

#### ・設備投資の実施及び見込みが「ある」とされた主なコメント

- 概ね10%未満の設備投資状況ではありますが、製造業及び小売業では補助事業活用で設備投資がありました。建設業においては、老朽化による設備更新がほとんどでした。(北海道木古内商工会)
- 新たな設備投資というより既存設備の買い替え等の設備投資に留まっている。(佐賀県大町町商工会)
- 主に建設業やサービス業において設備の老朽化に伴った投資が実施され、または今後予定の事業所がある。以前に比べて設備投資に関しては前向きな事業所がみられるようになったが製品増産や効率化を目的としたものは未だ少ない。(新潟県黒埼商工会)
- 持続化補助金等の補助金を活用し設備投資を行う事業者が多い。少額の100万円以下の投資が多い。業種では飲食、サービス業が多い。(鹿児島県屋久島町商工会)
- 製造業の設備投資は資金的な余裕があまりないことから金額は大きくないが少額の設備投資は比較的多い。飲食業においても、設備投資の金額は50万~100万と少額が多いが実行されている。持続化補助金の効果が多い。(山形県上市市商工会)
- まちづくりの進捗により、被災事業所の再建がようやく進み始めたので、今年の末位から中心市街地へ戻る事業者(小売り、サービス業)の設備投資が行われる。(岩手県大槌商工会)
- 設備投資といっても、老朽化による買い替えが大多数を占めており、新規の設備投資はほぼない状況となっている。(秋田県潟上市商工会)
- 地区内全般の状況であるが、設備投資は控えている事業所が多いように感じられる。しかし、一部では積極的に設備投資を実施して採算に結び付けているところもある。(兵庫県太子町商工会)

#### ・設備投資の実施及び見込みが「ない」とされた主なコメント

- 全般的に、先行きの不透明感から積極的に設備投資をする企業は少ないように思われる。(奈良県平群町商工会)
- ほとんどの業種において、設備投資は難しい状況にある。景況感はいくつか悪い。(長崎県新上五島町商工会)
- 多くの事業所にて設備の老朽化が進んでおり、更新などの設備投資の動きがあるものの、経営状況を勘案して大きな設備投資は控える傾向がみられる。(鳥取県米子日吉津商工会)
- 製造業で、特に45歳までの経営者の方の傾向で、設備投資をしたいが、堅実傾向が強く、設備投資をする方が少ない。(奈良県田原本町商工会)
- 後継者のいる事業所は店舗等設備投資が見られたが、いないところは、余計なコストをかけないで守りに入っている。(茨城県高萩市商工会)
- 自己資金での多額の投資は敬遠している状況。補助金や借入金の利用に左右されるところが多い。(長崎県対馬市商工会)
- 持続化補助金を活用して若干の設備投資はみられるが、先行きの不安等もあり投資に至らず。(静岡県菊川市商工会)
- 後継者がいない、景気が上向き見込みが立たない、返済していく体力が厳しい、などの理由で設備投資には慎重な傾向が続いている。今の設備がダメになったら廃業すると言っている所も多い。多少、設備投資に意欲が出てきているところもあるが、まだ割合的には少数である。(富山県南砺市商工会)